

令和6年度江田島市教育委員会経営計画

I 使命

児童生徒が夢や目標を持って学び、育ち、市民一人一人が、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じて輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒が「学ぶ喜び つながる楽しさ」を実感し、生涯を自立的に生き抜き、未来を切り拓くために必要な資質・能力の育成を義務教育の使命とし、知・徳・体をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育を始め、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と社会教育施設の整備・充実に努める。

さらに、里海教育では、自然体験活動や探究活動など、自然に親しみ、自然に学ぶ場や機会の整備・充実に努める。

これらの理念を合わせることで、相乗効果を生み、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II めざす姿

【児童生徒像】

○全ての教育活動を通じて知・徳・体がバランスよく育成されるとともに、生命を尊び、自然を大切に、郷土を愛する豊かな心が育成されている。

【学校像】

○組織的な学校体制のもとで、教職員を育成し、学校・家庭・地域の連携により、信頼される安全・安心な学校づくりを目指している。

【市民像】

○文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人ひとりが、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。

III 現状分析

【学校教育】

○「主体的な学び」が定着している児童生徒の割合（令和5年度広島県児童生徒学習意識等調査児童生徒質問紙：(13)～(27)の肯定的回答割合の平均値による）

→ 小学校 83.1% 中学校 76%

○江田島市小中学校学力調査の各教科の平均正答率の合計が目標値の合計を上回った学年の数

→ 6/8（小1・2・4・5・6、中1）※中3を除く

○自己実現力・自己有用感がある児童生徒の割合（令和5年度広島県児童生徒学習意識等調査児童生徒質問紙：(44)～(48)の肯定的回答割合の平均値による）

→ 小学校 87.2% 中学校 79.8%

○「運動やスポーツが好き」に対する肯定的回答の割合（令和5年度広島県児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査児童生徒質問紙による）

→ 小5男 96.0% 女 84.8% 中2男 95.2% 女 83.7%

○教職員の懲戒処分

→ 0件（軽微な交通事故や交通違反、教員間におけるセクシャルハラスメント及びパワー・ハラスメント等の事案や報告が数件あり、確認及び指導を行った。）

【生涯学習課】

○令和5年度の市美術展、灘尾弘吉没後30年及び早瀬大橋開通50周年特別展、人権学習講演会、歴史講座の満足度の加重平均は、4.42であった。（来場者アンケート）

○令和5年度のスポーツセンター1人当たりの利用回数は1.50回、総合運動公園1人当たりの利用回数は、0.68回である。

○図書館の令和5年度1人当たりの年間貸出数は3.79冊、1人当たりの年間来館回数は2.01回である。

【里海教育】

○さとうみ科学館の令和5年度の来館者数は、3,357人である。（平成30年度実績2,841人）

主催事業・支援事業を含む令和5年度の総事業参加者数は、5,582人である。（平成30年度実績8,275人）

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学校教育	知・徳・体の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の実態に応じ、個別最適な学びと協働的な学びの視点から授業改善に挑戦している教員と、授業づくりについて考える研修の機会を複数回設ける。 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて最新の知見を取り入れるため、主催研修において、外部講師を招へいし、研修を充実させる。 ○主催研修において、学力調査を基にした各校の進捗状況を確認し、指導助言を行う。
		道徳教育、人権教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな心と身体育成課と連携を図り、児童生徒が主体的に取組を進めている自治的活動のヒントとなる好事例等を各校に情報提供する。 ○江田島市道徳教育推進協議会の取組を各校に発信し、道徳教育の充実を図る。 ○「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」を基に、キャリア教育と各教科の取組を関連付けた指導助言を行う。
		運動習慣の確立に向けた取組の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○広島県及び全国の児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を基に、児童生徒の実態に応じた授業改善を図るよう指導助言を行う。 ○県教委等と連携を図り、運動やスポーツに対する関心を高め、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度を育み、個の目標に向けた体力づくりを継続的に行う。 ○体力向上推進協議会において、外部講師を招へいするなど、体力づくりの研修の機会を設ける。
安全・安心な学校づくりの推進	教職員による不祥事を0(ゼロ)を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ○校長会、教頭・事務長会において、服務規律の確保に関して講話を行うとともに、各校の服務規律に係る校内研修の好事例(風通しの良い職員集団づくり等)を紹介するなど、不祥事防止に向けた取組を工夫し、進捗状況を確認していく。 ○体罰・セクハラアンケートを継続し、実態把握及び早期対応に努める。 ○教育課程の確実な実施について、各校の取組状況を把握するとともに、必要に応じて指導助言を行う。 	
生涯学習課	魅力ある事業づくりを推進する。	実施事業に対する満足感の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○市民ニーズを捉え、様々な学びに対する関心を高めるように内容を充実させる。 ○事前準備や運営に係る調整を徹底し、円滑な運営に努める。 ○関係機関と連携を図るとともに、市広報や市のライン等のSNSなどを活用し、PRの強化を図る。
	健康づくり、体力づくりを推進する。	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ推進委員や関係団体等と連携し、総合運動公園やスポーツセンターを活用した生涯スポーツ体験会を開催する。 ○体育協会、eスポーツクラブ、スポーツ少年団への加入・参加を推進する。 ○HP・広報等を活用し、社会体育施設や活動をPRする。 ○修繕等の対応をし、施設の整備に努める。
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○「スタンプラリー」「読書貯金通帳」等の活用により、自主的な読書活動を促す。 ○参加型講座や読み聞かせ等の実施により、来館者の増加を図る。 ○「子ども司書」養成講座を実施する。 ○サービス案内や、施設利用案内のチラシ等を関係施設へ配布・掲示するなど、行事等のPRを強化する。
里海教育	里海科学館の認知度を高める。	さとうみ科学館の利用者の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○観察会などの主催事業や館内見学の実施方法を工夫することで、事業への参加や来館しやすい環境づくりを行う。(休日開館の試験的導入：実証実験)。 ○学校教育や地域活動への支援形態を工夫することで、里海を教育資源とした支援事業の場や機会を充実させる。 ○広報紙やSNS、地域おこし協力隊等の活用により、PR強化を図る。

